



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日  
東

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 2812 URL <https://www.yskf.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 潤  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝利昭 (TEL) 054-202-6044  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,994	2.6	227	35.2	255	40.9	175	56.9
2019年3月期第1四半期	3,893	2.7	168	△22.8	181	△25.8	111	△32.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 102百万円(△58.4%) 2019年3月期第1四半期 246百万円(△34.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.30	—
2019年3月期第1四半期	9.01	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	22,862	19,591	85.7
2019年3月期	22,950	19,722	85.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,591百万円 2019年3月期 19,722百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	19.00	29.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	3.7	250	△26.8	250	△29.6	150	△32.9	12.23
通期	16,500	0.3	750	△14.4	750	△15.6	500	△2.5	40.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,056,198株	2019年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	789,045株	2019年3月期	789,045株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	12,267,153株	2019年3月期1Q	12,399,610株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式には、監査等委員でない取締役(社外取締役を除く)への株式報酬制度のために設定した信託口が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、2022年3月までの3ヵ年中期経営計画「Create Next YSK」に基づき、“おいしさ”と“健康”で価値創造フィールドを拡大し、顧客に支持される食品メーカーへ成長することをビジョンとして、積極的な取り組みを進めています。

具体的には、i. 差別化とフィールド拡大による成長、ii. 海外事業のステージアップ、iii. 新規事業育成、の3つの重点施策を力強く推進しています。水産系の天然素材を原料とした調味料、機能性食品素材を強みとして、顧客視点による機会創造型営業マンの育成・強化と新製品の開発に取り組み、差別化を図っています。製造面については、掛川工場以外の工場においても食品安全マネジメントシステム認証「FSSC22000」を取得すべく取り組みを進めているほか、設備投資を積極的に実行して、更なる効率化や安定製造に向けた取り組みを進めています。海外事業については、タイ国バンコクの駐在員事務所を活用し、ASEANを中心とした事業展開を進めています。新規事業については、当社グループがこれまでに培ってきた技術を活用して、農業分野など新たな事業分野への展開を進めています。

連結売上高につきましては、調味料及び水産物の販売が伸長したことから、39億94百万円（前年同期比1億1百万円、2.6%増）の増収となりました。利益面につきましては、原材料価格の上昇や物流費、人件費等の増加があったものの広告宣伝費等の減少や生産性改善に取り組んだことから、連結営業利益は2億27百万円（同59百万円、35.2%増）となりました。また、連結経常利益は、2億55百万円（同74百万円、40.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億75百万円（同63百万円、56.9%増）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

#### (調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種香辛料の製造販売に関するセグメントです。液体調味料は積極的な販売活動と東京開発ラボを活用したプレゼンテーションが奏功し、大型案件を獲得し大幅に伸長しましたが、粉体調味料は前年同期比横ばいで推移し、香辛料は減少しました。その結果、調味料セグメントの売上高は、18億73百万円（前年同期比27百万円、1.5%増）となりました。セグメント利益は原材料価格の上昇や物流費等の増加があったものの売上高の増加及び売上構成の変化により2億12百万円（同25百万円、13.7%増）となりました。

#### (機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売に関するセグメントです。注力素材であるアンセリンは新規案件獲得及び既存取引先商品の売上増により伸長しましたが、N-アセチルグルコサミン等の減少が響き機能性食品素材の売上が減少したほか、機能食品も市場環境の変化により主力商品の苦戦が続いており売上を伸ばすことが出来ませんでした。その結果、機能食品セグメントの売上高は、6億50百万円（同1億9百万円、14.4%減）となりました。セグメント利益は売上高が減少したものの売上構成の変化及び健康食品通信販売に係る広告宣伝費等の効率化に取り組んだことから1億56百万円（同7百万円、4.8%増）となりました。

#### (水産物)

水産物は、冷凍鮪・冷凍鰹の原料販売並びに加工製品の製造販売に関するセグメントです。国内向け原料販売が減少したものの加工技術、品質に対する取引先からの評価を背景にOEM加工販売が大幅に伸長しました。その結果、水産物セグメントの売上高は、11億83百万円（同1億88百万円、19.0%増）となりました。セグメント利益は加工量増加に伴い製造経費は増加しましたが、OEM加工賃単価の見直し、販管費の削減等により23百万円（同8百万円、57.5%増）となりました。

#### (その他)

その他は、化粧品通信販売及びその他商品の販売に関するセグメントです。化粧品通信販売及びその他商品の販売が共に伸び悩みました。その結果、その他セグメントの売上高は、2億87百万円（同5百万円、1.9%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少により人件費等の固定費負担が影響し、5百万円（同6百万円、54.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ88百万円減少し、228億62百万円となりました。

流動資産は、原料及び貯蔵品が1億25百万円、現金及び預金が90百万円増加した一方、商品及び製品が99百万円、受取手形及び売掛金が67百万円減少したこと等により42百万円増加し、148億57百万円となりました。

固定資産は、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が53百万円減少したほか、保有株式の時価評価額の減少により投資有価証券が1億3百万円減少したこと等により1億30百万円減少し、80億5百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が83百万円、短期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金が79百万円減少したこと等により71百万円増加し、28億93百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が31百万円減少したこと等により28百万円減少し、3億76百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億75百万円となった一方、配当金の支払い2億33百万円により利益剰余金が58百万円減少したほか、その他有価証券評価差額金が72百万円減少したことにより1億31百万円減少し、195億91百万円となりました。

この結果、自己資本比率は85.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,252,486	8,343,283
受取手形及び売掛金	3,867,639	3,800,462
商品及び製品	1,058,646	959,445
仕掛品	61,045	85,730
原材料及び貯蔵品	1,499,827	1,625,279
その他	77,044	44,638
貸倒引当金	△1,700	△1,700
流動資産合計	14,814,989	14,857,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,037,900	1,999,130
機械装置及び運搬具(純額)	903,163	856,471
土地	2,603,175	2,603,175
リース資産(純額)	5,535	4,640
建設仮勘定	—	32,025
その他(純額)	59,873	60,238
有形固定資産合計	5,609,648	5,555,682
無形固定資産	44,798	66,792
投資その他の資産		
投資有価証券	2,078,446	1,974,531
退職給付に係る資産	211,967	221,162
繰延税金資産	8,768	8,571
その他	185,952	182,625
貸倒引当金	△4,321	△4,321
投資その他の資産合計	2,480,813	2,382,569
固定資産合計	8,135,261	8,005,044
資産合計	22,950,250	22,862,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,290,756	1,210,900
短期借入金	740,000	820,000
リース債務	3,113	2,791
未払法人税等	115,298	90,133
未払消費税等	23,571	57,144
賞与引当金	126,683	210,252
その他	523,192	502,649
流動負債合計	2,822,616	2,893,872
固定負債		
リース債務	2,864	2,220
繰延税金負債	346,867	315,274
退職給付に係る負債	24,957	25,590
役員株式給付引当金	27,306	30,719
長期末払金	2,850	2,850
固定負債合計	404,844	376,654
負債合計	3,227,461	3,270,526
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,422,547	3,422,547
利益剰余金	12,641,941	12,583,754
自己株式	△783,076	△783,076
株主資本合計	18,899,055	18,840,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	823,734	750,790
その他の包括利益累計額合計	823,734	750,790
純資産合計	19,722,789	19,591,659
負債純資産合計	22,950,250	22,862,186

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,893,098	3,994,334
売上原価	3,001,117	3,113,556
売上総利益	891,981	880,777
販売費及び一般管理費	723,690	653,284
営業利益	168,290	227,492
営業外収益		
受取利息	79	80
受取配当金	16,044	17,440
受取賃貸料	4,737	4,963
為替差益	609	—
補助金収入	—	13,505
その他	6,572	6,291
営業外収益合計	28,042	42,280
営業外費用		
支払利息	833	535
為替差損	—	1,060
租税公課	2,076	1,880
減価償却費	9,282	8,631
その他	2,835	2,189
営業外費用合計	15,027	14,298
経常利益	181,305	255,474
特別損失		
固定資産除却損	12	101
支払手数料	920	—
社葬関連費用	10,252	—
特別損失合計	11,186	101
税金等調整前四半期純利益	170,119	255,372
法人税等	58,357	79,975
四半期純利益	111,762	175,397
親会社株主に帰属する四半期純利益	111,762	175,397



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	111,762	175,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134,654	△72,943
その他の包括利益合計	134,654	△72,943
四半期包括利益	246,417	102,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,417	102,453
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,845,529	759,824	995,103	3,600,457	292,640	3,893,098	—	3,893,098
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,638	3,638	—	3,638	△3,638	—
計	1,845,529	759,824	998,741	3,604,095	292,640	3,896,736	△3,638	3,893,098
セグメント利益	186,488	149,745	14,852	351,085	11,549	362,635	△194,344	168,290

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△194,344千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,873,010	650,506	1,183,810	3,707,327	287,006	3,994,334	—	3,994,334
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,737	3,737	—	3,737	△3,737	—
計	1,873,010	650,506	1,187,547	3,711,064	287,006	3,998,071	△3,737	3,994,334
セグメント利益	212,013	156,990	23,397	392,401	5,220	397,621	△170,128	227,492

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△170,128千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。